

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和元度 第1回 嬉野市庁舎のあり方検討委員会		
開催日時	令和元年 11月22日(金) 13:00~14:35		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎3階 3-2会議室		
会議の公開の可否	Ⓞ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	5人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	谷口委員長、森副委員長、大塚委員、森田委員、辻田委員、 田島委員、岡委員、江口委員、犬尾委員、川内委員	
	事務局	総合戦略推進部長(池田)、企画政策課長(三根)、 同副課長(松本)、同企画政策G主任(西田)	
	その他	なし	
会議の議題	嬉野市庁舎のあり方について		
配布資料	・【第1回資料】本委員会趣旨説明等及び嬉野市役所現庁舎概要		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	嬉野市庁舎のあり方について		
内 容	嬉野市庁舎のあり方にかかる本委員会の趣旨及び現庁舎の概要等について、事務局より説明の後、各委員より意見・質疑を受けた。		
審議経過	事務局	<p>次第1「開会」。ただ今から、令和元年度第1回嬉野市庁舎のあり方検討委員会を開催いたします。</p> <p>まず初めに、次第2「委員への委嘱状交付」を行います。</p>	
	市長	<p>【市長より各委員へ委嘱状交付】</p>	
	事務局	<p>続きまして、次第3「市長あいさつ」。嬉野市庁舎のあり方検討委員会開催にあたり、嬉野市長がご挨拶申し上げます。</p>	
	市長	<p>【市長挨拶（以下要旨）】</p> <p>嬉野市役所は、2町合併後、旧町両庁舎をそのまま活用し2庁体制で行政運営してきたが、嬉野庁舎が耐震要件を満たさず老朽化も進んでいるため対応が必要な状況にある。将来を見据えた市庁舎のあり方を大きくは3つのポイントから総合的にご検討いただきたいと考えている。</p> <p>① 昨今の甚大な災害への対応を考慮した防災拠点としての庁舎 ② コンパクトシティーに対応した多機能な庁舎 ③ 賑わいづくり拠点としての庁舎</p>	
	事務局	<p>続きまして、次第4「委員・事務局紹介」。今回、嬉野市庁舎のあり方検討委員会条例第3条により、10名の皆様に委員をお願いしておりますが、委員の内訳として、学識経験を有する方を2名、市民団体等の代表者の方を6名、市民公募の方を2名委嘱しております。</p> <p>【事務局より各委員紹介】</p>	
	事務局	<p>続きまして、事務局の自己紹介させていただきます。</p> <p>【事務局員の自己紹介】</p>	

	事務局	<p>続きまして、次第5「会議の公開・非公開の決定」。これは市が設置する委員会等の会議ごとに会議の公開・非公開を決定する必要がありますが、本委員会については、非公開とする会議等にはあたらないと判断し「会議公開」としております。以後の開催においても原則公開とする予定ですがよろしいでしょうか。</p>
	委員	<p>【異議なし】</p>
	事務局	<p>続きまして、次第6「委員長・副委員長選出」。嬉野市庁舎のあり方検討員会条例第5条第2項により、委員長は委員の互選、副委員長は委員長指名で選出することとなっております。今回、委員の皆様、初対面の方も多いと思いますので、よろしければ、事務局から提案させていただいてもよろしいでしょうか。</p>
	委員	<p>【異議なし】</p>
		<p>それでは、事務局案として、委員長を谷口委員に、副委員長を森委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
	委員	<p>【異議なし】</p>
	事務局	<p>それでは、谷口委員に委員長を森委員に副委員長をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。嬉野市庁舎のあり方検討員会条例第6条第1項により、委員長が委員会の議長を務めることとなっております。以後の進行は谷口委員長に願します。</p>
	委員長	<p>それでは、これより私の方で議事進行してまいります。</p> <p>次第7「本委員会の趣旨説明等」及び次第8「現庁舎概要等」について、一括して事務局より説明をお願いします。</p> <p>【事務局（別紙【第1回資料】本委員会趣旨説明等・嬉野市役所現庁舎概要（P1）を用い説明）】</p>
	事務局	<p>それでは、次第7「本委員会の趣旨説明等」及び次第8「現庁舎概要等」についてご説明いたします。ここでは本委員会の趣旨・目的の確認・共有と塩田・嬉野の現2庁舎の現状把握をいただきます。</p> <p>まず、次第7「本委員会の趣旨説明等」①の本委員会設置に至った経緯についてです。</p> <p>嬉野市は、平成18（2006）年1月1日、藤津郡塩田町と藤津郡嬉野町の2町が合併し、佐賀県内9つ目の市として新市が誕生しました。</p>

事務局

新市庁舎については、当時の嬉野町塩田町合併協議会における合併協定項目の中で、「新市の市役所事務所の位置は塩田町役場庁舎」とすることとし、庁舎の位置は「本庁を旧塩田町役場」「支所を旧嬉野町役場」として新市がスタート、当初は塩田本庁・嬉野支所（総合支所）としていました。2町合併以降、現在まで14年ほどが経過しましたが、その間、市民等の利便性を考慮し各庁舎の部・課編成などの機構改革等も行いながら、各々の旧役場庁舎を市庁舎として活用する「2庁方式」による行政運営を行ってきました。

しかし、現在、嬉野庁舎は耐震要件を満たしておらず、老朽化も進んでいる状況にあるため、早急に嬉野庁舎のこの問題に対応していく必要があります、今回「嬉野市庁舎のあり方検討委員会」を設置し、今後の庁舎のあり方について、塩田庁舎も含めた市庁舎全体としてのあり方を総合的に検討していくこととなりました。

次に、②本委員会で協議・検討を行う事項についてです。

庁舎のあり方検討委員会条例では「庁舎の現状及び課題に基づく今後のあり方に関する事項」「庁舎を整備する場合の基本的方針に関する事項」「その他前2つの事項に関し市長が必要と認める事項」を協議・検討事項と定めております。

現2庁舎の現状と課題を把握し、市長あいさつにもありました激甚化する災害、少子高齢化や人口減、地方創生や街の活性化など嬉野市取り巻く社会情勢の現状や将来を見据えながら、これからの市庁舎がどうあるべきか、市民等のニーズに即し、また、費用対効果にあった行政サービスが提供できるか等を考慮し、庁舎のあり方についてご議論いただきたいと考えています。具体的には「今後も現状の2庁を維持していくか、1庁舎へ統合するか」「2庁舎維持の場合、嬉野庁舎を新築するか、規模はどうするか」「1庁方式へ統合の場合、新庁舎を新築するか、位置はどこが適当か」などです。

なお、第2回委員会以降は、先ほどありました防災・街づくり・地域活性化・財政負担などの観点から、専門的な見地も入れながら2庁方式の維持や1庁方式への移行などのシミュレーションをお示しできればと考えています。

次に、③本委員会の暫定スケジュールについてです。

今回からの庁舎のあり方検討委員会での協議・検討を来年7月頃までに5回を予定しており、その協議・検討結果の市長報告を来年8月頃までに完了できればと考えています。庁舎あり方の協議はこれからになりますので、協議の進み具合や決定する方向性によってはスケジュール変更も考えられます。

以上が、次第7「本委員会の趣旨説明等」になります。

	事務局	<p>続きまして、次第8「現庁舎概要等」についてです。</p> <p>①の現両庁舎の現状と②の来庁者状況調査及び市庁舎に関するお客様アンケートについて説明いたします。</p> <p>【事務局（別紙【第1回資料】本委員会趣旨説明等・嬉野市役所現庁舎概要（P2～8、P9～16）を用い説明）】</p> <p>以上が、次第8「現庁舎概要等」になります。</p>
	委員長	<p>次第9【質疑応答】。ただいまの事務局からの説明について、委員の皆様から何かご意見・ご質問はありませんか。</p>
	委員	<p>合併時、塩田庁舎を本庁として新市がスタートしたが、市民の中には今回の委員会設置で塩田庁舎がなくなるのではと危惧されている方もいる。事務局は2庁舎維持と1庁舎統合について、どのように考えておられるのか。</p>
	事務局	<p>嬉野庁舎の耐震診断において耐震補強が必要という診断結果で、補強する場合、1階事務室フロアに壁を建てないと耐震補強にならないということでした。そうした場合、事務所としての機能が失われますので建て替えが必要と考えています。</p> <p>そうすると、嬉野庁舎を現状の規模のまま建て替えるのか、それとも小規模なものを建てるのか、それとも廃止し1庁舎へ集約するのか、その場合新庁舎を建設するのかなどいろいろな選択肢が出てくると思います。</p> <p>その辺については、現時点では方向性が決定しているものではなく、この委員会の中で検討していただきたいと考えています。</p> <p>今回の資料は現庁舎の状況についての資料が中心で、これだけでは判断できかねると思いますので、次回以降の委員会の中で、2庁舎維持または1庁舎統合などの場合に分けて、具体的なデータ等も加味した中でのシミュレーションをお示しして、その中で判断していただくという形になると思います。</p>
	委員	<p>白紙（0ベース）ということですね。</p>
	事務局	<p>はい。現時点で2庁舎維持や1庁舎統合といった方向性を事務局として決定しているということはありません。本委員会でも方向性を出していただきたいと思っています。</p>
	委員長	<p>庁舎の建設予定地は現在の場所ですか。</p>

事務局	<p>それについても未定です。</p>
委員	<p>嬉野地区と吉田地区を例に出すと、合併したのが昭和30年ですがいまだに地域意識が残っている。完全に消えてなくなるものではないが、この議論については、旧町意識が強いとなかなか難しいので旧町意識をはずして考えていったほうが良いと思う。</p>
委員	<p>次回委員会時に検討の材料として、合併当初の人口と現在の人口、世帯数の資料を提出していただきたい。</p> <p>もう1点がこの検討を行い方向性が決定するまで現庁舎での2庁舎体制でいくのか、それも検討の中に入っているのか伺いたい。</p>
事務局	<p>まず1点目の人口・世帯数の資料ですが、次回の議論の参考資料としてお示ししたいと思います。</p> <p>2点目ですが、この検討を行い方向性が決定し、どのような形であれ新体制整備ができるまでは、現庁舎での2庁舎体制を引き続き維持していく予定です。現嬉野庁舎が使えないということで、嬉野庁舎の部署を全部塩田庁舎へ移動させるのは、現塩田庁舎のキャパシティ的に厳しい状況です。</p>
委員	<p>合併後に2庁舎方式を14年間（長年）続けたという他自治体はあるか。通常は合併後、数年で1庁舎方式になる自治体が多いと思うのだが。</p>
事務局	<p>2町合併での2庁舎体制はあると思います。市域の関係もありますが、3自治体以上で合併した県内自治体にも、引き続き旧庁舎を支所として活用している例があります。</p>
委員	<p>前提に関する部分で確認ですが、各庁舎の現段階での防災上の脆弱性、今想定される大雨や地震等で甚大な被害を受ける可能性があるのか。今考えられる将来予測で致命的なものがあるか。</p> <p>また、嬉野庁舎は耐震問題があるが、塩田庁舎の耐震性は問題ないか。嬉野庁舎は耐震補強ができないという前提でよいか。</p>
事務局	<p>現各庁舎の脆弱性ですが、嬉野庁舎はハザードマップにおいて、現在の位置では大雨による被害の恐れは低い。ただ、地震については、震度5以上で倒壊の恐れが高いという結果が出ています。耐震補強をするとすると、1階のオープンスペースのほとんどに壁を設置しないといけないため、事務所の機能が失われてしまうということで、補強よりも建て替えを選択しないといけない状況と考えています。</p> <p>塩田庁舎はハザードマップ上では、浸水想定が5～10mとされて</p>

		<p>います。耐震については、平成5年築で耐震診断は行っていませんが、新たな建築基準法による建物なので問題ないと考えています。</p>
委員		<p>塩田庁舎周辺が5m浸水した場合、塩田庁舎が災害対応できる機能になっているか。例えば、電源関係で72時間発電できるとか、職員を含めて最低でも3日から1週間分の飲料水を確保できるといった面での防災拠点としての機能を持っているか。</p>
事務局		<p>電源関係は非常用電源が確保されています。</p>
委員		<p>浸水しないところに予備発電システムはあるか。問題は周りが冠水したときに、塩田庁舎で県との情報共有等の災害対応ができるのか。そのためには、電源が5mの浸水エリアにあれば、地下に発電システムがあってはダメ。新しく庁舎を作るときは、水没しないところに発電システムを作らなければいけない。</p>
事務局		<p>現庁舎は地下に発電システムがあります。</p>
委員		<p>もし現庁舎が浸水すれば、電源確保ができない可能性も出てくるのが前提となっていますね。</p>
委員		<p>次回以降の資料は、委員会開催の前にいただけるか。</p>
事務局		<p>はい。今回は委員委嘱状交付と現状確認が中心ということで当日配布としましたが、次回以降につきましては、事前配布して委員の皆さんに目を通していただいたうえでご出席いただくようにしたいと思います。</p>
委員		<p>私たち地元の委員はハザードマップに目を通してしているが。有識者の委員さんは市外でそこまで承知されていないと思う。具体的な議論をするにあたって、庁舎の利便性も大事ですが一番は災害対策に目を向けないといけないと思っている。できれば次回、ハザードマップの用意もお願いしたい。</p> <p>災害が万が一発生した時に、拠点となる場所が浸水したり、倒壊してしまえば元も子もない。そこをきちっと議論して最善の庁舎体制を構築していけるようにしていきたい。</p>
委員		<p>この委員会とは別に、市議会でも庁舎のあり方検討がされるようだが、そこの関係性はどうなっているか教えていただきたい。</p>
事務局		<p>委員ご発言のとおり、議会でも庁舎のあり方特別委員会が設置さ</p>

		<p>れています。そこでの検討事項は、ここで検討する内容と同じ内容を並行して行うのではなく、本委員会での意見やその結果報告事項について検討される場と聞いております。よって、本委員会と議会での議論がクロスするようなことにはならないと思っております。</p>
委員		<p>我々が市長に検討結果を報告して、執行部の方で内容を精査され議事に議案として提出される流れになるのか。</p>
事務局		<p>そのようになります。</p>
委員		<p>そのような流れにならなければいけないと考える。議会での検討が別にあって、本委員会での結果が繋がっていかないということでは困るので、そこはきちんとしておかないといけない。</p>
事務局		<p>確認しておきたいのですが、本委員会での結論がそのまま決定というわけではないということをお頭においていただきたい。あくまで市長に検討結果を報告という位置づけになりますので、決定機関ではないということをご承知いただきたいと思います。</p>
委員		<p>1庁舎・2庁舎など色々な意見があると思うが、将来的にも人口が減っていく中、例えば、1庁舎統合で新築するとなればそれだけ予算もかかる。一方、2庁舎維持で嬉野庁舎にのみを考えれば建設費用は少ないけれど、配置の職員はより必要になり人件費がかさむなどを鑑み、より効率的な体制を求めていかなければいけないと考える。</p>
事務局		<p>今のご意見のとおり、2庁舎体制を継続していく場合、建物を新築したらその建物を40～50年使わないといけない。そうした場合、新しく建てて2庁舎体制の40年間の職員数やかかる維持経費等のトータル経費と1庁舎に建て替えた場合の40年間のトータル経費のシミュレーション等を今後お示ししていく予定です。</p> <p>職員数についても、総務省推計では今の人口減少社会の中で、20年後は今の職員数の半分で現在の事務をこなさないといけないという報告もあります。現在、市役所内でも事務の自動化、RPA・ロボット化を検討・推進しています。そういうものを導入しないと職員数は不足します。そういった意味でも2庁舎にするのか1庁舎にするのかの検討の判断材料の一つとしてご議論をお願いします。</p>
委員		<p>資料に塩田庁舎の一般非常勤職員を除く職員数112名とあるが、実際にいらっしゃる人数はどれくらいか。</p>
事務局		<p>非常勤職員の中には、庁舎外、例えば学校関係や給食センターな</p>

		<p>ど、市庁舎以外で働かれている方が相当数在籍している関係で、庁舎のありかた検討委員会の今回資料としては、それぞれの庁舎で業務をしている任期付き職員・再任用職員を含む常勤職員の数がはっきりしていたので、その分で挙げさせていただきました。</p>
	委員	<p>実際はもっと多いということで、非常勤職員の数は全部でどれくらいか。</p>
	事務局	<p>非常勤職員全体としては150人くらいいますが、その中の80人程度は学校関係で、その他にも両庁舎外で勤務している数も含んでいます。</p>
	委員	<p>市から雇用されているという点では、正職員も非常勤職員も職員ですよ。</p>
	事務局	<p>はい。そうです。今回各庁舎の規模と収容職員を把握してもらうという意味で示した数字なので、庁舎外の勤務は外した方がいいと考えましたが、次回資料はその辺を精査し直したいと思います。。</p>
	委員	<p>統計的に20年後には2万人を切る人口になると言われている。個人的な意見にはなるが、人口がこれだけ減る中で新しく建てるとなると、かなりの市・市民の負担で、今ある建物を活かせるのであれば活かした方が市民も納得するのではないかと思う一方、市長が言われたように、災害のことを考えると致し方ないとも思う。</p> <p>塩田庁舎は大雨の際、地下の駐車場が浸かり、庁舎横の公民館まで避難できない状況もある。現状では災害対応も機能していない部分もあるので、これから世代のためにも、安心・安全を確保できるだけの体制等を考える必要がある。</p> <p>先ほど説明で、嬉野庁舎は、現状、震度5で倒れるような庁舎に職員さんが勤務し、市民の方々が来庁されているのは正直どうかと思う。この状態を放置せずに移動するなど早急に対応しないとイケないと思うし、安心・安全ではないと感じる。</p>
	委員	<p>民間の場合であれば、即断即決での建替えも可能な場合もあるかと思うが、市役所庁舎は公金支出で、国・県等の補助等も受けており、様々な機関との調整が必要で各段階を踏む必要があるだろう。</p>
	委員長	<p>先ほどの現嬉野庁舎の早急な対応のご指摘については、簡単にはいかないが放っておいていいのかという問題提起として認識しなければいけない。何か対応策があればよいのだが、暫定的な期間で解決するのは非常に難しいと思う。</p>

事務局	<p>最初に財政負担のお話もありましたが、将来の負担については、できる限り少なくなるよう検討すべきだと思います。</p> <p>また、庁舎が危険な状態のままでよいのか、地震が起こった時にどうするのかというご指摘ですが、毎年、ここ嬉野・塩田庁舎でも過去の記録を超えるような災害が発生している中で、いち早く庁舎をどうにかしたいというのが本音です。しかし、市民の方々の合意、行政の立場として手続き等をきちんと踏んだうえで前進しなければいけないと思っています。事務局としては、いち早くという思いでございますが、市民の皆様の意見を十分に聞きながら、合意を得ながら、庁舎のあり方・庁舎体制の決定について進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>今、事務局から話があったように、他の各委員さんのお話はいずれも頷ける。いろいろ挙がっている課題解決のために私たちは今日集ったと考える。少しでも早く議論をまとめ意見報告ができるようにしたい。それまでは災害が起きないように心の中で願いながらいくしかないかなと思う。委員で力を合わせ最良の案をまとめるようよろしくお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見はないですか。</p>
委員	<p>塩田地区の住民はこれまでの大雨・水害時にはいつも避難してきた歴史がある。避難場所が塩田公民館だが塩田庁舎と同じ敷地で、すでに公用車が避難していたり、災害対応職員の自家用車が駐車してあったりと市民がいっぺんに避難してきてもなかなか車の駐車スペースがない。そういった面も今後は考えていただきたい。</p> <p>また、嬉野の老人福祉センターでも、今年の7月の豪雨の際は80名以上の方々が避難されていたと思うが、そこでも駐車場が足りない状況だった。そういった一般避難所や福祉避難所の機能としても今後検討していただければと思う。</p>
委員	<p>庁舎ではないですが、呼子の公民館は避難対応が可能なすばらしい施設ができている。そういったところも参考にしながら検討していけたらと思う。</p>
委員長	<p>今日は顔合わせを中心にしながら議論も進んでまいりました。これをベースにして、次回以降、お話にもありました資料なども用意していただいて、事前に目を落としていただいて、議論していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第10「その他」。事務局より提案・説明事項、または事務連絡など何かありますか。</p>

	事務局	<p>今回第1回目ということでしたが、次回から発言される時は挙手の上、委員長（議長）の許可を得てからの発言をお願いしたいと思います。</p> <p>それと、次回の開催でございますが、12月の議会において庁舎のあり方検討にかかる支援業務の補正予算をお願いする予定です。そこで議決をいただければ、専門家の意見や分析等を行った資料を作成し2回目の委員会から提示する予定ですので、第2回の委員会開催時期が2月にずれ込む可能性があります。会議のお知らせについては、1月頃にまた皆さんにお知らせしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
	委員長	<p>それでは、本日予定の議事については、すべて終了いたしました。</p> <p>以上をもちまして、第1回嬉野市庁舎のあり方検討委員会を閉会いたします。本日はたいへんお疲れ様でした。</p>